

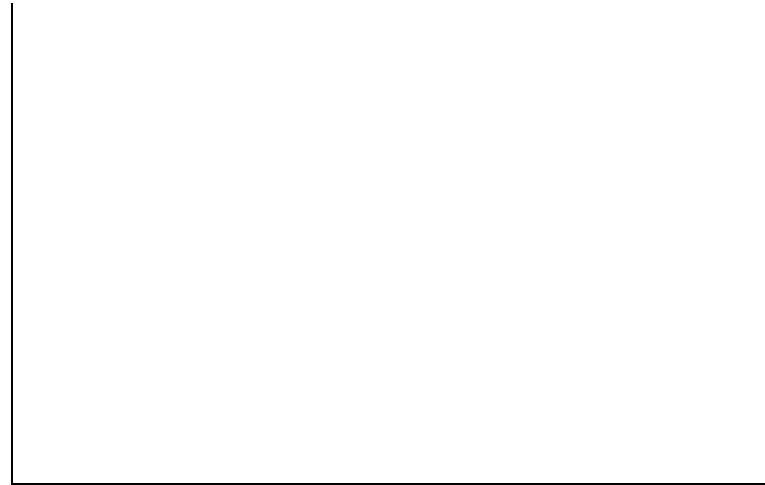
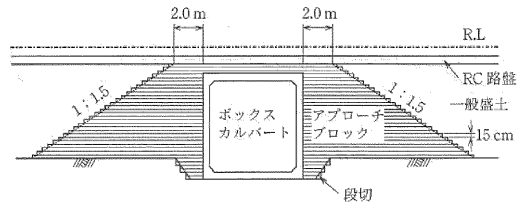
頁	箇所	誤	正	対象となる刷																																		
9	1.1.3 解説図 1.1.1	<p style="text-align: center;">粒 径</p> <p style="text-align: center;">5<math>\mu</math>m   75<math>\mu</math>m   425<math>\mu</math>m   2mm   4.75mm   19mm   75mm</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>粘土</td> <td>シルト</td> <td>細砂</td> <td>粗砂</td> <td>細礫</td> <td>中礫</td> <td>粗礫</td> <td>粗岩</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">砂</td> <td colspan="3">礫</td> <td></td> </tr> </table>	粘土	シルト	細砂	粗砂	細礫	中礫	粗礫	粗岩			砂		礫				<p style="text-align: center;">粒 径</p> <p style="text-align: center;">5<math>\mu</math>m   75<math>\mu</math>m   250<math>\mu</math>m   850<math>\mu</math>m   2mm   4.75mm   19mm   75mm</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>粘土</td> <td>シルト</td> <td>細砂</td> <td>中砂</td> <td>粗砂</td> <td>細礫</td> <td>中礫</td> <td>粗礫</td> <td>粗岩</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">砂</td> <td colspan="3">礫</td> <td></td> </tr> </table>	粘土	シルト	細砂	中砂	粗砂	細礫	中礫	粗礫	粗岩			砂			礫				第 2 刷以前
粘土	シルト	細砂	粗砂	細礫	中礫	粗礫	粗岩																															
		砂		礫																																		
粘土	シルト	細砂	中砂	粗砂	細礫	中礫	粗礫	粗岩																														
		砂			礫																																	
33	2.4 下から 2 行目	A 型	A 形	第 1 刷																																		
33	2.4 下から 1 行目	RA 型	RA 形	第 1 刷																																		
33	2.4 解説図 2.4.1 (b)	(b) 省力化軌道 (A 型スラブ軌道の例)	(b) 省力化軌道 (A 形スラブ軌道の例)	第 1 刷																																		
35	2.4 下から 6 行目	C 型舗装軌道	C 形舗装軌道	第 1 刷																																		
37	2.4 解説図 2.4.5	C 型舗装軌道の構造例 (狭軌)	C 形舗装軌道の構造例 (狭軌)	第 1 刷																																		
37	2.4 下から 5 行目	C 型	C 形	第 1 刷																																		
45	2.6.4 解説表 2.6.5	各 <u>構造</u> 部位の損傷レベル	各 <u>構成</u> 部位の損傷レベル	第 2 刷以前																																		
45	2.6.4 下から 2 行目	損傷した場合 <u>へ</u> の本体への影響	損傷した場合 <u>の</u> 本体への影響	第 2 刷以前																																		
55	2.7.5 解説表 2.7.8 注 2)	凍結期間は、 <u>施工箇所</u> の 1 日の平均気温が . . . . .	凍結期間は、 <u>既知の観測箇所</u> の 1 日の平均気温が . . . . .	第 2 刷以前																																		

58	2.8.2 下から2行目	(付属資料 16, 付属図 16-5)	(付属資料 16, 付属図 16.5)	第1刷
58	2.8.2 最下行	(付属図 16-5, 付属表 16-6)	(付属図 16.5, 付属表 16.6)	第1刷
58	2.8.2 解説表 2.8.1 *2の説明	S, S-G, SG は粒度が良好 ( $U_c \geq 10$ または $1 < U_c' \leq \sqrt{U_c}$ ) であれば土質 1	S, S-G, SG は粒度が良好 ( $U_c \geq 10$ かつ $1 < U_c' \leq \sqrt{U_c}$ ) であれば土質 1	第2刷以前
64	3.1.1 解説表 3.1.1 使用性における軌道 保守の作業性での支 持地盤の圧密沈下速 度	永久作用+変動作用	永久作用	第3刷以前
64	3.1.1 解説表 3.1.1 使用性における外観	永久作用	永久作用+変動作用	第3刷
67	3.1.2 解 3.1.2 の説 明	$f_t = f_r(\theta) \cdot f_\varepsilon(\theta) \cdot f_a(\theta) \cdot f_s$ ft : 補強材の設置角度補正 $f_r(\theta)$ , ひずみ量補正 $f_\varepsilon(\theta)$ , 拘束圧補正 $f_a(\theta)$ , 形状補正 $f_s$ の総合補正係数 <sup>3)</sup>	$f_t = f_\varepsilon(\theta) \cdot f_a(\theta) \cdot f_s$ ft : ひずみ量補正 $f_\varepsilon(\theta)$ , 拘束圧補正 $f_a(\theta)$ , 形状補正 $f_s$ の総合補 正係数 <sup>3)</sup>	第3刷以前
92	3.2.3 上から9行目	小型 FWD 試験を基本とし	小型 FWD 試験による $K_{30}$ 値を基本とし	第1刷
92	3.2.3 上から11行 目	「突砂による土の密度試験」のいずれかにより、	「突砂による土の密度試験」のいずれかにより行い、	第1刷
92	3.2.3 上から12行 目	(下限値 92%) を確保するものとする。	(下限値 92%) とする。	第1刷
92	3.2.3 上から18行 目	安全の確保および沈下の減少を目的として密度による管 理を行うものとし, 必要な締固めの程度は, 転圧仕上り面 5層 (1.5m) ごとに管理し, 材料が砂の場合には	安全の確保および沈下の減少を目的として, 転圧仕上り面 5層 (1.5m) ごとに密度の管理を行うものとし, 必要な締固めの程度は, 材料が砂の場合には	第1刷

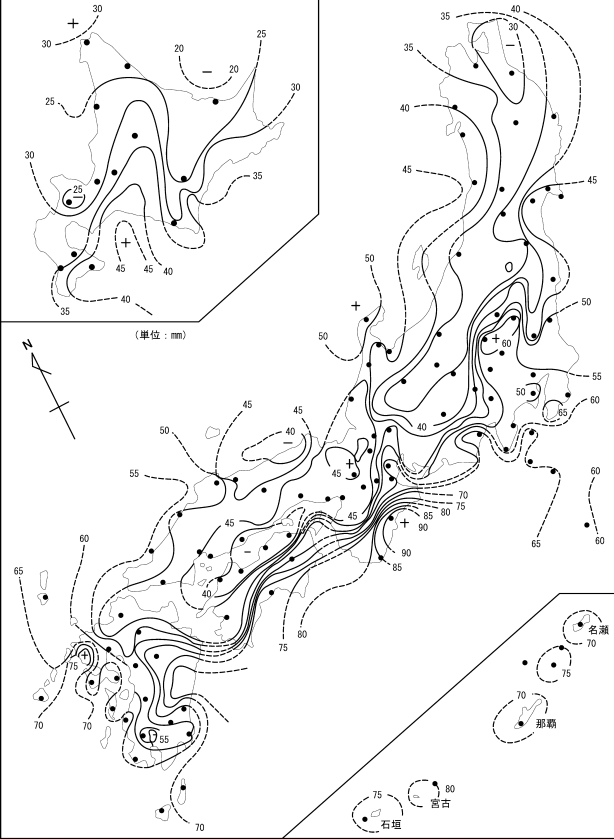
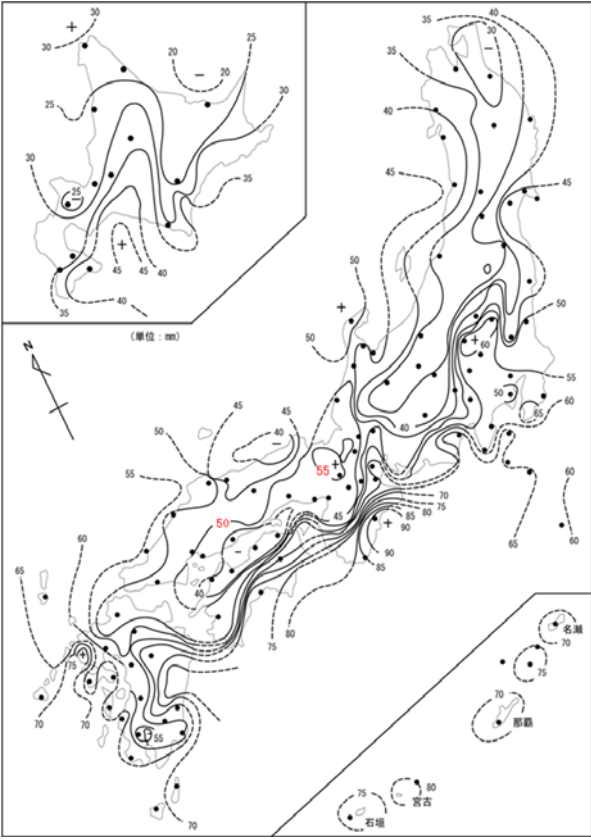
92	3.2.3 上から 20 行目	<p>平均値 90%以上（下限値 87%）確保するものとする。</p>	<p>平均値を 90%以上（下限値 87%）とする。</p>	第 1 刷
92	3.2.3 下から 2 行目	<p>いずれかにより締固め密度比の平均値を 90%以上（下限値 87%）とする。</p>	<p>いずれかにより行い締固め密度比の平均値を 90%以上（下限値 87%）とする。</p>	第 1 刷
93	3.2.3 上から 5 行目	<p>性能ランクⅢの盛土では常時においては多少の変形は許容できるため、上部盛土においては、路床が必要とする剛性の確保を基本とし密度による管理は行わなくてもよいものとした。必要な<math>K</math>値は<math>K_{30}</math>値<math>\geq 70\text{MN/m}^3</math>とするが、礫などの良質な材料を用いた場合には、結果的に<math>110\text{MN/m}^3</math>以上となることもある。</p> <p>上部盛土における <math>K</math> 値の管理は、仕上り面において、平板載荷試験または FWD 試験、小型 FWD 試験を基本とし、<math>K_{30}</math> 値<math>\geq 70\text{MN/m}^3</math>を確保するものとする。</p> <p>下部盛土においては密度の管理とし、転圧仕上り面 3 層（0.9m）ごとに、「RI による土の密度試験」、「砂置換による土の密度試験」、「突砂による土の密度試験」のいずれかによって、締固め密度比が 90%以上を確保するものとする。</p> <p>ただし、細粒分の量により、締固め密度比で管理するものと空気間隙率により管理するものとに分けるのがよい（付属資料 32 参照）。</p>	<p>上部盛土では、路床として必要な剛性の確保、安定の確保および沈下の減少を基本として<math>K</math>値、密度による管理を行うものとし、必要な締固めの程度は、締固め密度比が90%以上、<math>K_{30}</math>値が<math>70\text{MN/m}^3</math>以上とするが、礫などの良質な材料を用いた場合には、結果的に<math>110\text{MN/m}^3</math>と以上となることもある。</p> <p><math>K</math> 値の管理は、上部盛土の仕上り面において、平板載荷試験または FWD 試験、小型 FWD 試験による <math>K_{30}</math> 値を基本とし、<math>K_{30}</math> 値<math>\geq 70\text{MN/m}^3</math>を確保するものとする。締固め密度比による管理は、転圧仕上り面 3 層（0.9m）ごとに、「RI による土の密度試験」、「砂置換による土の密度試験」、「突砂による土の密度試験」のいずれかによって行い、締固め密度比が 90%以上を確保するものとする。</p> <p>一方、下部盛土においては、安定の確保および沈下の減少を目的として、基本的には密度の管理を転圧仕上り面 5 層（1.5m）ごと行うものとし、締固め密度比 90%以上を確保するものとするが、細粒分の量により空気間隙率のほうに適している場合もあるので、締固め密度比で管理するものと空気間隙率により管理するものとに分けるのがよい（付属資料 32 参照）。</p>	第 1 刷

3.4 解説図 3.4.1

(b)



284	8.5 解 8.5.4	$\min (T_p, T_d) = \text{frg} (\sigma_{vi} \cdot \tan \phi \cdot 2li + c \cdot 2li) \leq T_d$	$\min (T_p, T_d)$	第 1 刷
299	9.3 解説表 9.3.1 安全性におけるア プローチブロック (安 定) の鉛直支持に関 する主たる作用	変動荷重 (L1 地震時以外)	変動作用 (L1 地震時以外)	第 2 刷以前
299	9.3 解説表 9.3.1 安全性におけるア プローチブロック (破 壊) の主たる作用	変動荷重 (L1 地震)	変動作用 (L1 地震)	第 3 刷以前
320	10.3 上から 2 行目	2 ウェッジ法による土圧	静止土圧	第 1 刷
347	付属資料 3 下から 6 行目	現場 CBR=1/2 単管コーン支持力	現場 CBR=5 単管コーン支持力	第 3 刷以前
348	付属資料 4 最上段	$K_{30} = (\log_{10} \text{室内 CBR} + 0.192) / 0.115$	$K_{30} = 10 \cdot (\log_{10} \text{室内 CBR} + 0.192) / 0.115$	第 3 刷以前
402	付属資料 15 式(2) 2 か所	$\Lambda$	...	第 1 刷
411	付属資料 16 付属 表 16.7 *3 の説明	S, S-G, SG は粒度が良好 ( $U_c \geq 10$ または $1 < U_c' \leq \sqrt{U_c}$ ) であれば土質 1	S, S-G, SG は粒度が良好 ( $U_c \geq 10$ かつ $1 < U_c' \leq \sqrt{U_c}$ ) であ れば土質 1	第 2 刷以前
523	付属資料 36 下か ら 9 行目 式(2)	$I = a/(t+b)$	$I = (a/(t+b)) \cdot R_n$	第 2 刷以前

525	付属資料 36 図 36.3			第2刷以前
536	付属資料 36 下か ら4行目	(切取の線路側溝)	(切土の線路側溝)	第2刷以前
538	付属資料 36 上か ら1行目	(e)排水能力(Q)の算定(その2)	(f)排水能力(Q)の算定(その2)	第2刷以前
538	付属資料 36 上か ら7行目	平均流速 <u>1.034m/sec</u>	平均流速 <u>1.156m/sec</u>	第2刷以前

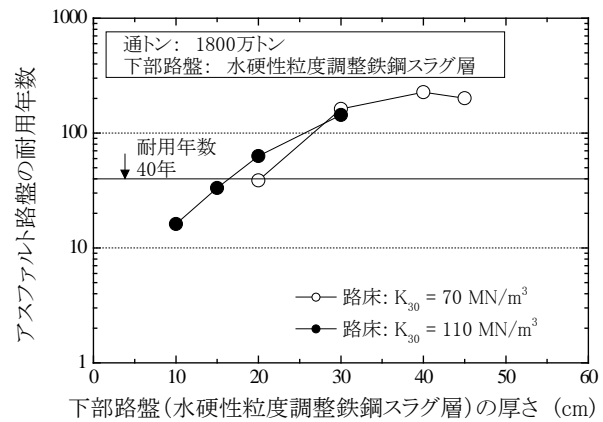
547	付属資料 38 付属表 38.1	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">盛土材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">植生工が適するかまたは可能な材料</td> <td>礫質土</td> <td colspan="2">(GM) (GC)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">(GO) (GV)</td> </tr> <tr> <td>砂質土</td> <td colspan="2">(SM) (SC)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">(SV)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">シルトおよび粘性土</td> <td>(ML) (MH)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>(CL) (CH)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>(VH<sub>2</sub>) (VH<sub>1</sub>)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">細粒分混じり礫および砂</td> <td>(G-M) (G-C)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>(G-O)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>(S-M) (S-C)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>(S-V) (S-O)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">植生工に適さない材料</td> <td>礫, 砂および岩ずり</td> <td colspan="2">(GW) (GP)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">(G-V)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">(SW) (SP)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">硬岩ずり</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">軟岩ずり 脆弱岩ずり</td> </tr> </tbody> </table>				盛土材料				植生工が適するかまたは可能な材料	礫質土	(GM) (GC)			(GO) (GV)		砂質土	(SM) (SC)			(SV)		シルトおよび粘性土	(ML) (MH)			(CL) (CH)			(VH <sub>2</sub> ) (VH <sub>1</sub> )			細粒分混じり礫および砂	(G-M) (G-C)			(G-O)			(S-M) (S-C)			(S-V) (S-O)			植生工に適さない材料	礫, 砂および岩ずり	(GW) (GP)			(G-V)			(SW) (SP)			硬岩ずり			軟岩ずり 脆弱岩ずり		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">盛土材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">植生工が適するかまたは可能な材料</td> <td>礫質土</td> <td colspan="2">(GF)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">(GF-S) (GFS)</td> </tr> <tr> <td>砂質土</td> <td colspan="2">(SF)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">(SF-G) (SFG)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">シルトおよび粘性土</td> <td>(ML) (MH)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>(CL) (CH)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>(VH<sub>2</sub>) (VH<sub>1</sub>)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">細粒分混じり礫および砂</td> <td>(G-F) (G-FS)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>(GS-F)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>(S-F) (S-FG) (SG-F)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">植生工に適さない材料</td> <td>礫, 砂および岩ずり</td> <td colspan="2">(G) (G-S)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">(GS)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">(S) (S-G)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">(SG)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">硬岩ずり 軟岩ずり 脆弱岩ずり</td> </tr> </tbody> </table>				盛土材料				植生工が適するかまたは可能な材料	礫質土	(GF)			(GF-S) (GFS)		砂質土	(SF)			(SF-G) (SFG)		シルトおよび粘性土	(ML) (MH)			(CL) (CH)			(VH <sub>2</sub> ) (VH <sub>1</sub> )			細粒分混じり礫および砂	(G-F) (G-FS)			(GS-F)			(S-F) (S-FG) (SG-F)			植生工に適さない材料	礫, 砂および岩ずり	(G) (G-S)			(GS)			(S) (S-G)			(SG)			硬岩ずり 軟岩ずり 脆弱岩ずり		第3刷以前
		盛土材料																																																																																																																					
植生工が適するかまたは可能な材料	礫質土	(GM) (GC)																																																																																																																					
		(GO) (GV)																																																																																																																					
	砂質土	(SM) (SC)																																																																																																																					
		(SV)																																																																																																																					
シルトおよび粘性土	(ML) (MH)																																																																																																																						
	(CL) (CH)																																																																																																																						
	(VH <sub>2</sub> ) (VH <sub>1</sub> )																																																																																																																						
細粒分混じり礫および砂	(G-M) (G-C)																																																																																																																						
	(G-O)																																																																																																																						
	(S-M) (S-C)																																																																																																																						
	(S-V) (S-O)																																																																																																																						
植生工に適さない材料	礫, 砂および岩ずり	(GW) (GP)																																																																																																																					
		(G-V)																																																																																																																					
		(SW) (SP)																																																																																																																					
		硬岩ずり																																																																																																																					
		軟岩ずり 脆弱岩ずり																																																																																																																					
盛土材料																																																																																																																							
植生工が適するかまたは可能な材料	礫質土	(GF)																																																																																																																					
		(GF-S) (GFS)																																																																																																																					
	砂質土	(SF)																																																																																																																					
		(SF-G) (SFG)																																																																																																																					
シルトおよび粘性土	(ML) (MH)																																																																																																																						
	(CL) (CH)																																																																																																																						
	(VH <sub>2</sub> ) (VH <sub>1</sub> )																																																																																																																						
細粒分混じり礫および砂	(G-F) (G-FS)																																																																																																																						
	(GS-F)																																																																																																																						
	(S-F) (S-FG) (SG-F)																																																																																																																						
植生工に適さない材料	礫, 砂および岩ずり	(G) (G-S)																																																																																																																					
		(GS)																																																																																																																					
		(S) (S-G)																																																																																																																					
		(SG)																																																																																																																					
		硬岩ずり 軟岩ずり 脆弱岩ずり																																																																																																																					
550	付属資料 38 付属表 38.4	地山	土壌硬度 (mm)	土質・岩質		地山	土壌硬度 (mm)	土質・岩質		第3刷以前																																																																																																													
植生工	粘性土 23 未満	礫質土	(GM) (GC) (GO) (GV)	植生工	粘性土 23 未満	礫質土	(GF) (GF-S) (GFS)																																																																																																																

		が 適 す る か ま た は 可 能 な 地 山	砂質土等 27未満	砂質土	(SM) (SC) (SV) (SO)	が 適 す る か ま た は 可 能 な 地 山	砂質土等 27未満	砂質土	(SF) (SF-G) (SFG) (SO)		
				シルト および 粘性土	(ML) (MH) (CL) (CH) (OL) (OH) (OV) (VH <sub>2</sub> ) (VH <sub>1</sub> )			シルト および 粘性土	(ML) (MH) (CL) (CH) (OL) (OH) (OV) (VH <sub>2</sub> ) (VH <sub>1</sub> )		
				細粒分 混じり 礫およ び砂	(G-M) (G-C) (G-O) (S-M) (S-C) (S-V) (S-O)			細粒分 混じり 礫およ び砂	(G-F) (G-FS) (GS-F) (S-F) (S-FG) (SG-F)		
				脆弱岩				脆弱岩			
		植 生 工 に 適 さ な い 地 山	上 記 以 外 の 土 質 脆 弱 岩 軟 岩	(GW) (GP) (G-V) (SW) (SP) 硬岩ずり 軟岩ずり 脆弱岩ずり		植 生 工 に 適 さ な い 地 山	上 記 以 外 の 土 質 脆 弱 岩 軟 岩				
				硬岩	硬岩						

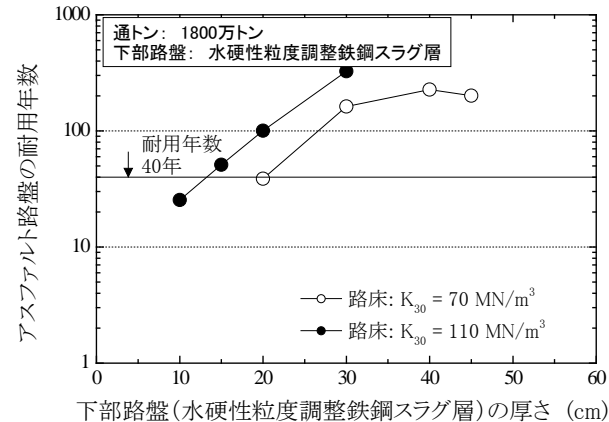


615

付属資料 48 付属  
図 48.8 左最下段  
グラフ



新幹線 輪重 85kN (速度衝撃率 1.45)  
通トン 1800万トン



通トン: 1800万トン  
下部路盤: 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ層

第1刷

第2・3刷

<p>615</p>	<p>付属資料 48 付属 図 48.8 右最下段 グラフ</p>	<p>アスファルト路盤の耐用年数</p> <p>通トン: 4000万トン 下部路盤: 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ層</p> <p>耐用年数 40年</p> <p>○ 路床: <math>K_{30} = 70 \text{ MN/m}^3</math> ● 路床: <math>K_{30} = 110 \text{ MN/m}^3</math></p> <p>下部路盤(水硬性粒度調整鉄鋼スラグ層)の厚さ (cm)</p>	<p>アスファルト路盤の耐用年数</p> <p>通トン: 4000万トン 下部路盤: 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ層</p> <p>耐用年数 40年</p> <p>○ 路床: <math>K_{30} = 70 \text{ MN/m}^3</math> ● 路床: <math>K_{30} = 110 \text{ MN/m}^3</math></p> <p>下部路盤(水硬性粒度調整鉄鋼スラグ層)の厚さ (cm)</p>	<p>第1刷</p>
<p>新幹線 輪重 85kN (速度衝撃率 1.45) 通トン 4000万トン</p>		<p>第2・3刷</p>		
<p>643</p>	<p>付属資料 52 付属 表 52.1</p>	<p>軌道パット (x) 11 軌道パット (y) 11 軌道パット (z) 110</p>	<p>軌道パット (x) 6 軌道パット (y) 6 軌道パット (z) 60</p>	<p>第1刷</p>
<p>643</p>	<p>付属資料 52 付属 表 52.2</p>	<p>軌道パット (x) 6 軌道パット (y) 6 軌道パット (z) 60</p>	<p>軌道パット (x) 11 軌道パット (y) 11 軌道パット (z) 110</p>	<p>第1刷</p>